

浜松市における エネルギーの地産地消と スマートシティづくり

令和3年10月8日
浜松市産業部 エネルギー政策課
内山 輝義

目次

- 1 浜松市の概要
- 2 脱炭素化に向けた世界や国の動き
- 3 浜松市エネルギービジョン & 浜松市域“RE100”について
- 4 再生可能エネルギーの導入促進
- 5 スマート化の推進
- 6 浜松新電力
- 7 課題・まとめ



1 浜松市の概要

浜松市の概要

★歩み

明治44年7月 市制施行
平成17年7月 12市町村合併
平成19年4月 政令指定都市移行
平成23年7月 市制施行100周年



★市内企業



★浜松ブランド



浜名湖うなぎ



遠州灘天然とらふぐ



三ヶ日みかん



天竜茶



浜松餃子

浜松市の概要

■ 多彩なフィールド

- 国土縮図型都市
(海・山・川・湖・都市部から中山間地域,まで)

■ 浜松市の特徴

- 全国2番目の市域面積(1,558.06km²)
- 東は天竜川、西は浜名湖、南は遠州灘、北は南アルプスの山々など、四方を豊かな自然に囲まれている
- 人口797,300人(令和3年7月1日現在、住民基本台帳による)
- 多文化共生都市、市内在住外国人は2万5千人超。その8割以上が永住・定住などの長期滞在者



2 脱炭素化に向けた世界・国の動き

脱炭素化が世界的な潮流に

2015年12月 パリ協定が採択（COP21）

- **すべての国が参加する公平な合意**
- **2℃目標**
- **今世紀後半に温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡を達成**

パリ協定は炭素社会との決別宣言

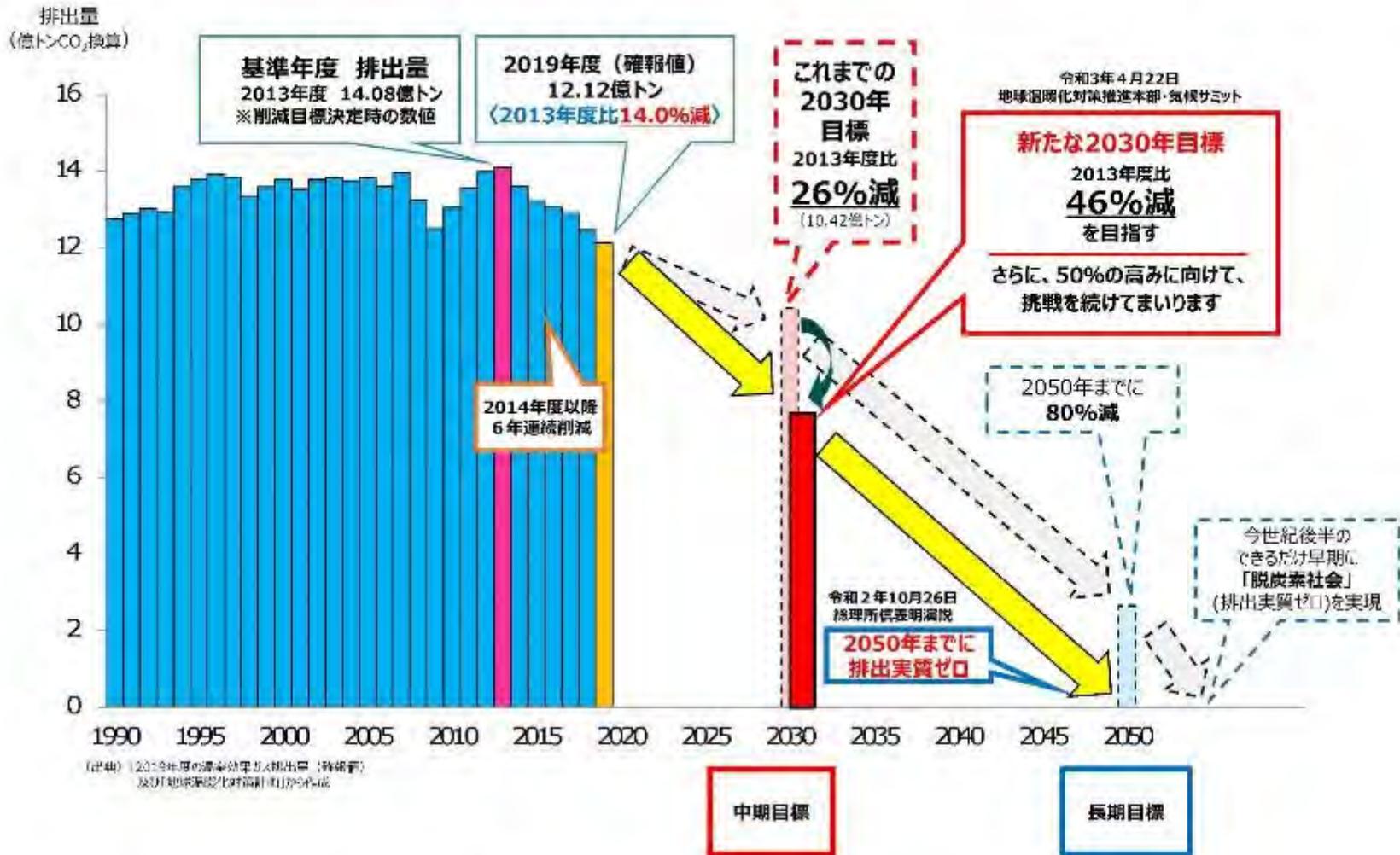


2019.9 気候行動サミット（ニューヨーク）

- 脱炭素化に向けた**転換点**
- 今世紀後半の脱炭素社会に向けて世界は既に走り出している

2018年10月8日
IPCC1.5℃特別報告書公表

国の動き ～温室効果ガス削減の中期目標と長期目標の経緯～



※地域脱炭素の実現にむけた地方公共団体意見交換会(R3.8.2)資料抜粋

経済財政運営と改革の基本方針2021



○ 令和3年6月18日、「経済財政運営と改革の基本方針2021 日本の未来を拓く4つの原動力 ～グリーン、デジタル、活力ある地方創り、少子化対策～」（骨太方針2021）が経済財政諮問会議での答申を経て、閣議決定。

1. グリーン社会の実現

2050年カーボンニュートラル、2030年度のGHG削減目標の実現に向け、

①脱炭素を軸として成長に資する政策を推進、②再生可能エネルギーの主力電源化を徹底、③公的部門の先導により必要な財源を確保しながら脱炭素実現を徹底

●グリーン成長戦略による民間投資・イノベーションの喚起

グリーンイノベーション基金等による脱炭素化投資支援、グリーン国際金融センターの実現

●脱炭素化に向けたエネルギー・資源政策

3E+Sの考え方を大前提に、再生可能エネルギーの主力電源化を徹底し、再生可能エネルギーに最優先の原則で取り組み、国民負担の抑制と地域との共生を図りながら最大限の導入を促す

●成長に資するカーボンプライシングの活用

産業の競争力強化やイノベーション、投資促進につながるよう、成長戦略に資するものに躊躇なく取り組む

地域脱炭素ロードマップ(R3.6.9)

- 国と地方が協働・共創して2050年までのカーボンニュートラルを実現するため、特に地域の取組と国民のライフスタイルに密接に関わる分野を中心に、国民・生活者目線での実現に向けたロードマップ、及び、それを実現するための国と地方による具体的な方策について議論する場として、「国・地方脱炭素実現会議」を開催。
(議長：内閣官房長官、副議長：環境大臣、総務大臣)
- 令和3年6月9日の第3回において、「地域脱炭素ロードマップ」を取りまとめ。

●重点対策① 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電(p10)

建物の屋根等に設置し屋内・電動車で自家消費する太陽光発電を導入する。自家消費型の太陽光発電は、系統制約や土地造成の環境負荷等の課題が小さく、低圧需要では系統電力より安いケースも増えつつある。余剰が発生すれば域内外で有効利用することも可能であり、蓄エネ設備と組み合わせることで災害時や悪天候時の非常用電源を確保することができる。

<絵姿・目標>

- 政府及び自治体の建築物及び土地では、2030年には設置可能な建築物等の約50%に太陽光発電設備が導入され、2040年には100%導入されていることを目指す。

重点対策③ 公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導(p12)

庁舎や学校等の公共施設を始めとする業務ビル等において、省エネの徹底や電化を進めつつ、二酸化炭素排出係数が低い小売電気事業者と契約する環境配慮契約を実施するとともに、再エネ設備や再エネ電気を、共同入札やリバースオークション方式も活用しつつ費用効率的に調達する。あわせて、業務ビル等の更新・改修に際しては、2050年まで継続的に供用されることを想定して、省エネ性能の向上を図り、レジリエンス向上も兼ねて、創エネ（再エネ）設備や蓄エネ設備（EV/PHEVを含む）を導入し、ZEB化を推進する。

<絵姿・目標>

- 2030年までに新築建築物の平均でZEBが実現していることを目指し、公共施設等は率先してZEBを実現していることを目指す。
- 公共部門の再エネ電気調達が実質的に標準化されていることを目指す。

3 浜松市エネルギービジョン & 浜松市域“RE100”について

浜松市エネルギービジョン

- 2020年(令和2年)4月に「浜松市エネルギービジョン」を改訂
- エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会、「エネルギー・スマートシティ」の実現

★エネルギー自給率を高める
『再生可能エネルギー等の導入』

★低炭素社会を実現する
『省エネルギーの推進』

★エネルギーを最適利用する
『スマート化の推進』

★地域経済を活性化する
『環境・エネルギー産業の創出』

▼
『エネルギー・スマートシティ』

エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会



浜松市域“RE100”表明(令和2年3月)



浜松市域“RE100”とは ※浜松市が独自定義
RE (renewable energy) 再生可能エネルギー

浜松市内の再エネ電源 ≥ 浜松市内の総電力使用量

※市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギーで生み出すことができる状態 《RE100の考え方を参考に、浜松市で独自に定義したもの》

浜松市域“RE100”へのチャレンジ目標

		2019年度(実績)	2030年度(目標)	2050年度(目標)
再生可能エネルギー導入量(MWh)	大規模水力除く A	753,930	1,370,160	2,215,000
	大規模水力含む B	3,084,171	3,700,401	4,545,241
市内の総電力使用量 (MWh)	C	4,996,340	4,700,000	4,500,000
再エネ電力自給率	大規模水力除く A/C	15.1%	29.2%	49.2%
	大規模水力含む B/C	61.7%	78.7%	101.0%

18.0%(全国平均)

浜松市域“RE100”戦略の3本柱

浜松市域“RE100”戦略とは

- ・エネルギービジョンや温暖化対策実行計画など市の計画に基づき、地域の強みを活かし、再エネによるエネルギー（電力）自給率100%の達成により、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。
- ・浜松市域“RE100”の実現に向け、次の3本柱により、事業推進。
- ・浜松市の強み「エネルギー」と「林業」を活かし、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す！

①再生可能エネルギーの導入・利用拡大

- ・ 多様な再生可能エネルギーの導入
- ・ 再生可能エネルギー電源の地産地消



②徹底した省エネ＋イノベーション

- ・ ゼロカーボン 建築物（ZEH,ZEB）⇒まちづくり（スマートコミュニティ）
- ・ 水素社会の実現 ・エネルギー：環境イノベーション



③森林の二酸化炭素吸収

- ・ 林業・木材産業の成長産業化 ⇒ 天竜材の利用拡大
- ・ 持続可能な森林経営 ・森林資源の活用と保全



浜松市域“RE100”戦略の3本柱 ①



①再生可能エネルギーの導入・利用拡大

エネルギーをつくる

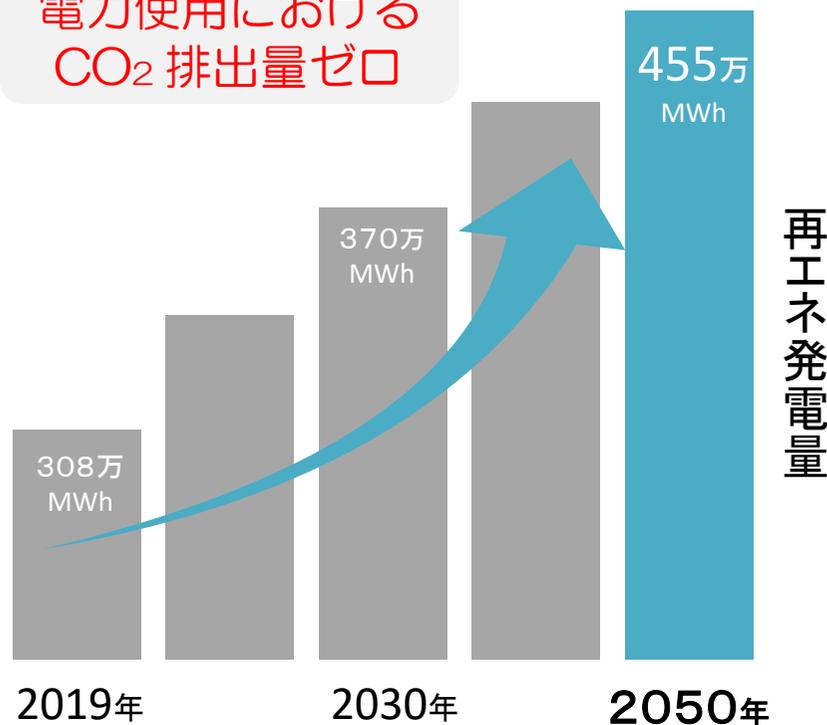


	2019 《実績》	2030 《目標》	2050 《目標》
太陽光	63万MWh	72万MWh	80万MWh (1.3倍)
風力	5万MWh	52万MWh	120万MWh (24倍)
バイオマス	7万MWh	12万MWh	20万MWh (2.9倍)
小水力	—	1万MWh	2万MWh (皆増)
大規模水力	233万MWh	233万MWh	233万MWh (1.0倍)
合計	308万MWh	370万MWh	455万MWh (1.5倍)

《目標》
2050年度の市内消費エネルギーとほぼ同等 = 455万MWh



電力使用における
CO₂ 排出量ゼロ



○ … 2019年度比

3. 森林の二酸化炭素吸収

森林資源の活用と保全

林業・木材産業の成長産業化

雇用創出・拡大
生産性向上、技術開発イノベーション、
効率的サプライチェーン構築
販路拡大
緑のインフラ整備

天竜材の利用拡大

森林環境教育・木育の推進
新規ユーザー開拓
住宅・非住宅への積極利用
公共施設・学校の木質化

浜松市 = 国土縮図型都市
森林面積 ⇒ 市域の約66%



二酸化炭素吸収源の役割



持続可能な森林経営の推進

適切な森林管理・整備 (FSC森林
認証)
木材生産の低コスト化

国有林面積 : 21,259ha
民有林面積 : 81,215ha (平成30年度静岡県森林・林業統計要覧)

FSC森林認証面積 : 48,542ha (令和2年1月1日現在)

市町村別では日本最大、取得者別でも全国2位(1位は山梨県)

4 再生可能エネルギーの導入促進

太陽光発電の導入推進

浜松の日照時間は全国トップクラス → 太陽光発電最適地

①住宅屋根への設置支援



②メガソーラー建設・誘致



③公共施設への設置



④金融支援「パートナーシップ協定」



◎民間企業・地元金融機関による事業推進体制の構築

◎事業用太陽光発電の約7割が地元資本により建設

太陽光発電導入日本一

10kW以上の導入件数と全出力の設備導入量

日本一を達成！

【10kW以上の導入件数ランキング】

	市町村	導入件数(件)
1位	浜松市	9,557
2位	岡山市	6,454
3位	名古屋市	5,521
4位	倉敷市	4,683
5位	前橋市	4,558

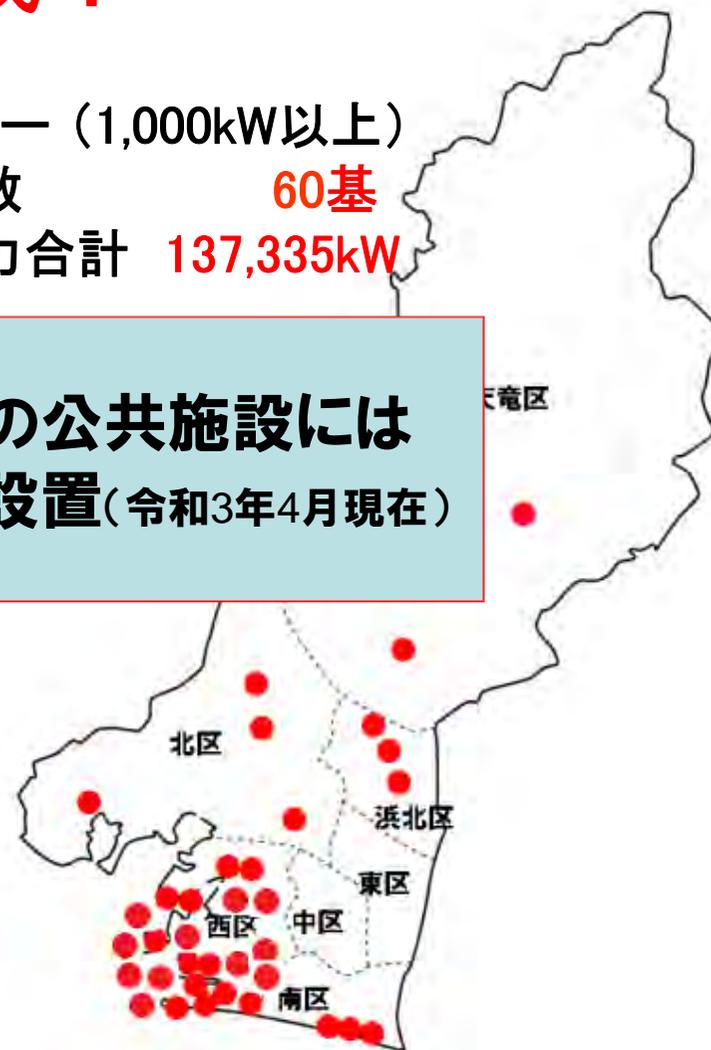
【全出力の合計導入量ランキング】

	市町村	導入量(kW)
1位	浜松市	539,381
2位	津市	363,132
3位	宮崎市	360,115
4位	姫路市	333,977
5位	大分市	331,480

※令和2年12月末時点

メガソーラー（1,000kW以上）
発電所数 **60基**
発電出力合計 **137,335kW**

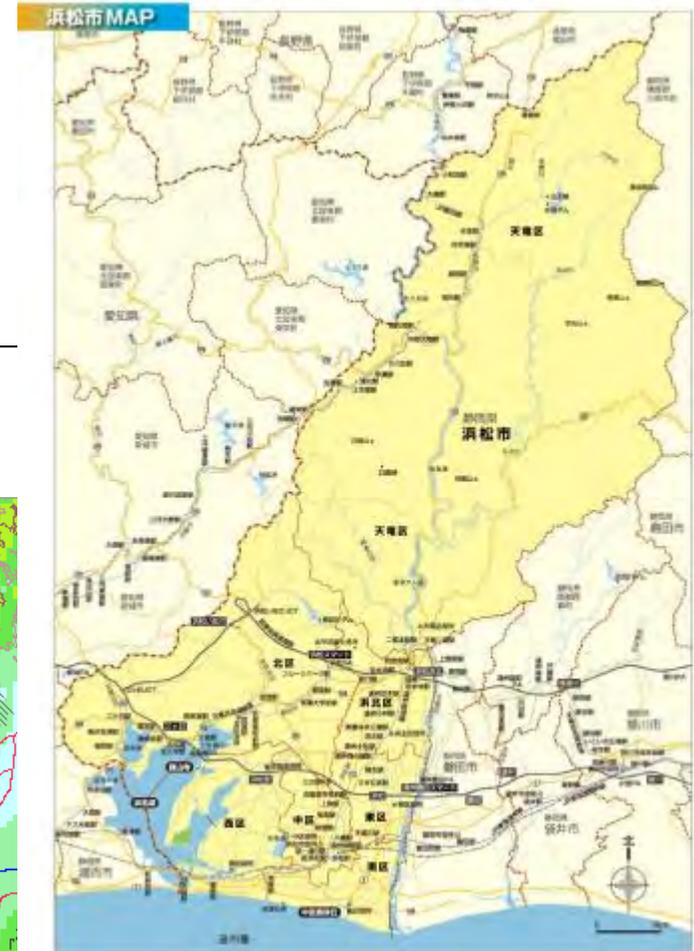
**浜松市の公共施設には
83カ所設置(令和3年4月現在)**



風力発電ゾーニング(概要)

環境省「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」

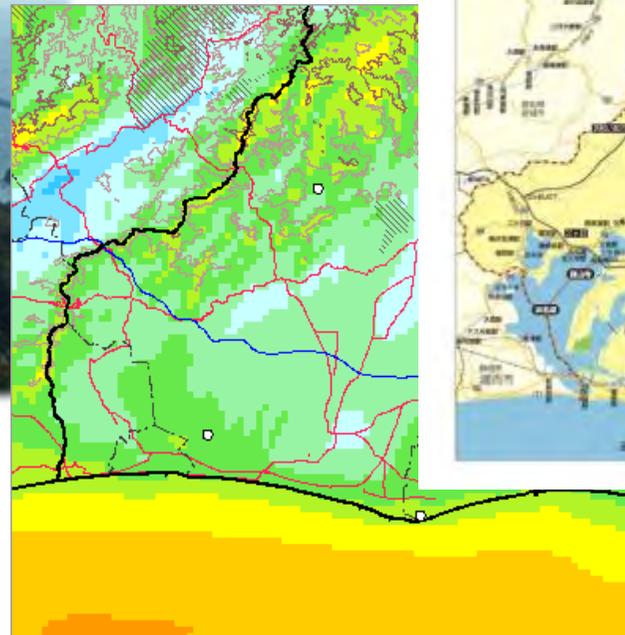
- ・ 風力発電ゾーニング事業を実施
(平成29年度、30年度)
- ・ 対象エリア: **市内全域及び本市沿岸**
- ・ **陸上、洋上風力発電において、可能性のあるエリアの抽出、課題等の明確化**



陸上風力



洋上風力



NEDO風況マップより

風力発電ゾーニング

陸上風力ゾーニング結果

Bエリア（※調整エリア）：

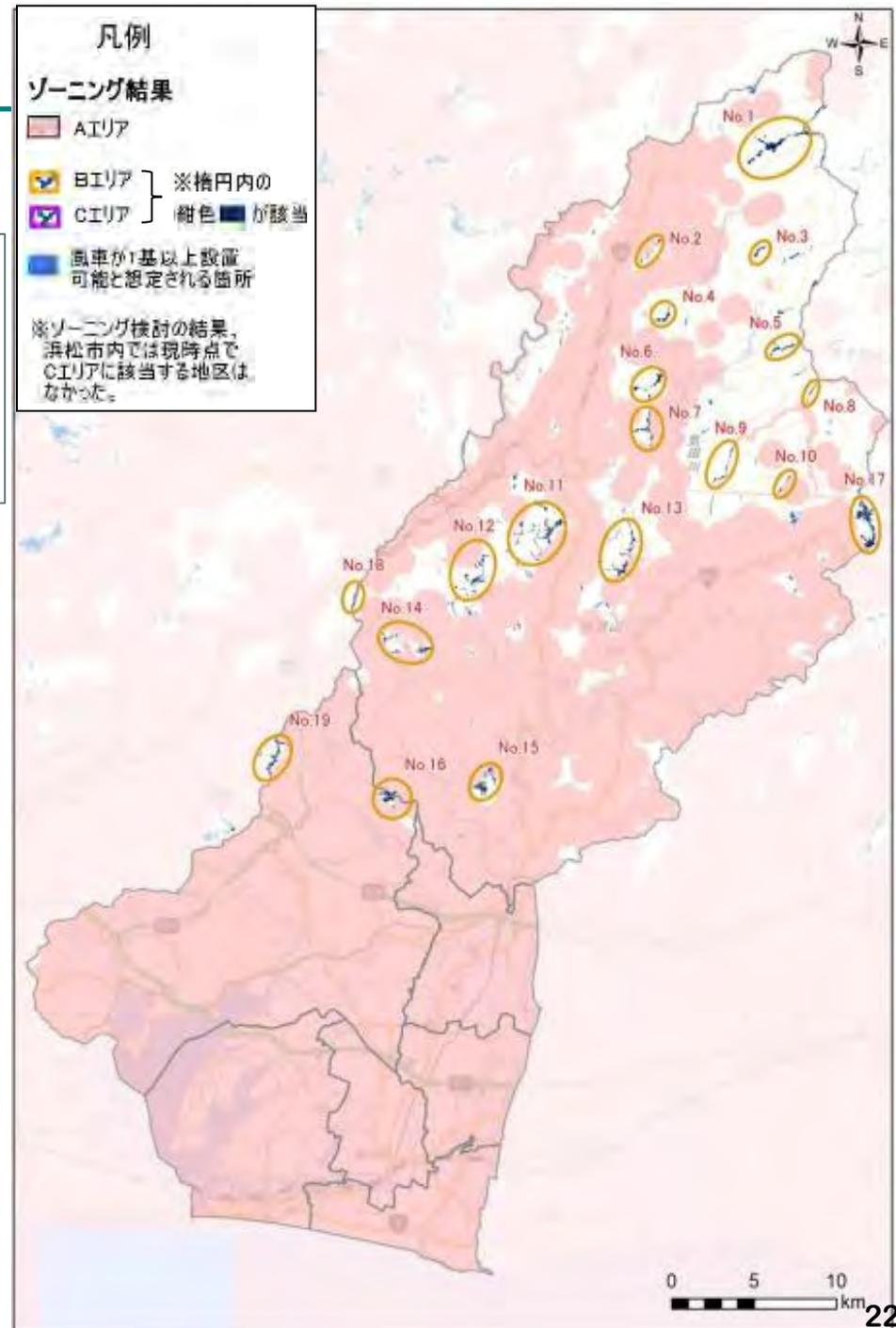
19箇所を抽出

（現時点でCエリア（※促進エリア）に該当する地区はなし）

エリア	面積又は箇所数
Aエリア（※保全エリア）	約1,263.4km ²
Bエリア（※調整エリア）	19箇所
Cエリア（※促進エリア）	0箇所
白地	約288.4km ²
白地・Aエリア以外（1基以上の風車が設置可能と想定される場所）	約6.6km ²

※印は、国のマニュアルの名称

現在、Bエリア内から2案件が、環境アセス手続き中



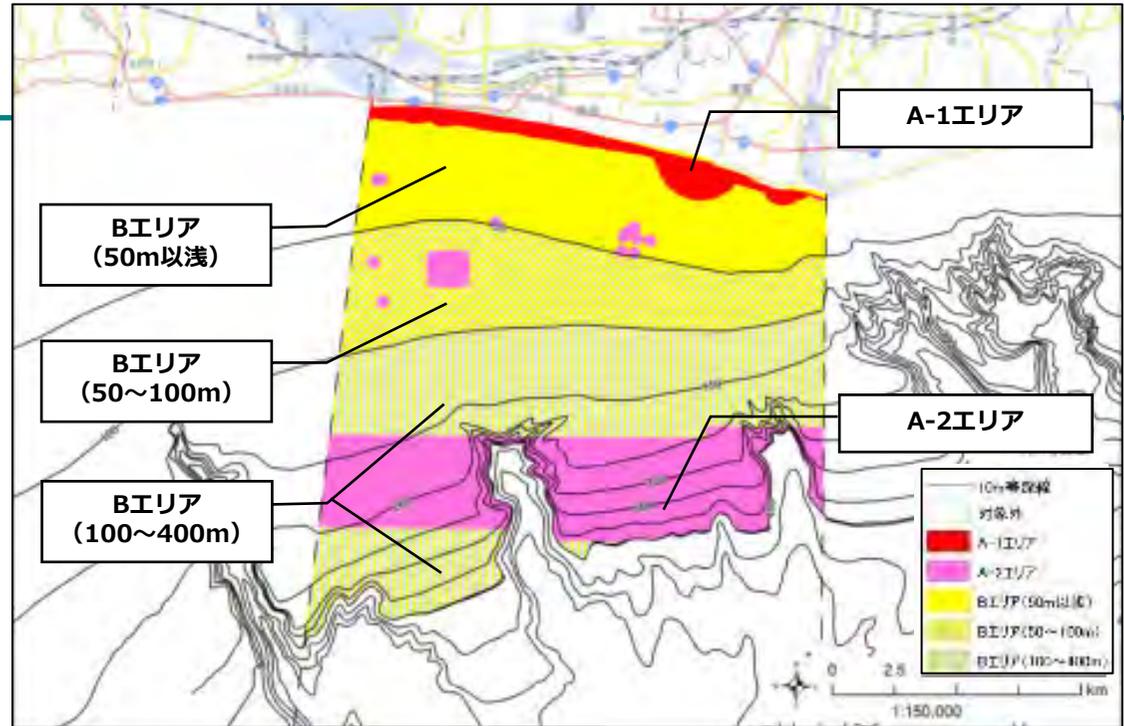
風力発電ゾーニング

洋上風力ゾーニング結果

Bエリア（※調整エリア）：

332.1km²を抽出

（現時点でCエリア（※促進エリア）
に該当する地区はなし）



※印は、国のマニュアルの名称

エリア		面積	備考
白地		—	
A-1エリア（※保全エリア）		21.7 km ²	
A-2エリア（※保全エリア）		72.0 km ²	
Bエリア （※調整 エリア）	水深50m以浅	111.3 km ²	着床式
	水深50～100m	96.8 km ²	浮体式（セミサブ、バージ型）
	水深100～400m	124.0 km ²	浮体式（スパー型）
Cエリア（※促進エリア）		0 km ²	

5 スマート化の推進 (エネルギーの効率的な使用)

住宅のスマート化(スマートハウス補助金)

スマートハウスの設置を促進するため、「太陽光発電システム」、「太陽熱システム」、「燃料電池(エネファーム)」、「蓄電池」、「V2H対応型充電器」を設置する市民等に対し補助金を交付。

◆年度ごとの補助件数及び補助金額(直近5年間)

年度	太陽光発電	太陽熱	エネファーム	蓄電池	V2H	合計
補助額※	2万円	2万円	6万円	10万円	5万円	—
H28	1,226件 49,040千円	—	134件 13,400千円	230件 22,264千円	0件 0千円	87,974千円
H29	1,098件 43,920千円	—	140件 14,000千円	222件 21,220千円	2件 100千円	82,970千円
H30	1,134件 39,690千円	—	108件 8,640千円	409件 32,720千円	1件 50千円	84,160千円
R1	821件 24,630千円	27件 675千円	84件 6,720千円	558件 55,800千円	1件 50千円	87,875千円
R2	317件 7,925千円	46件 1,150千円	98件 7,840千円	704件 70,400千円	12件 60千円	87,915千円

※補助額は、R3年度時点のもの

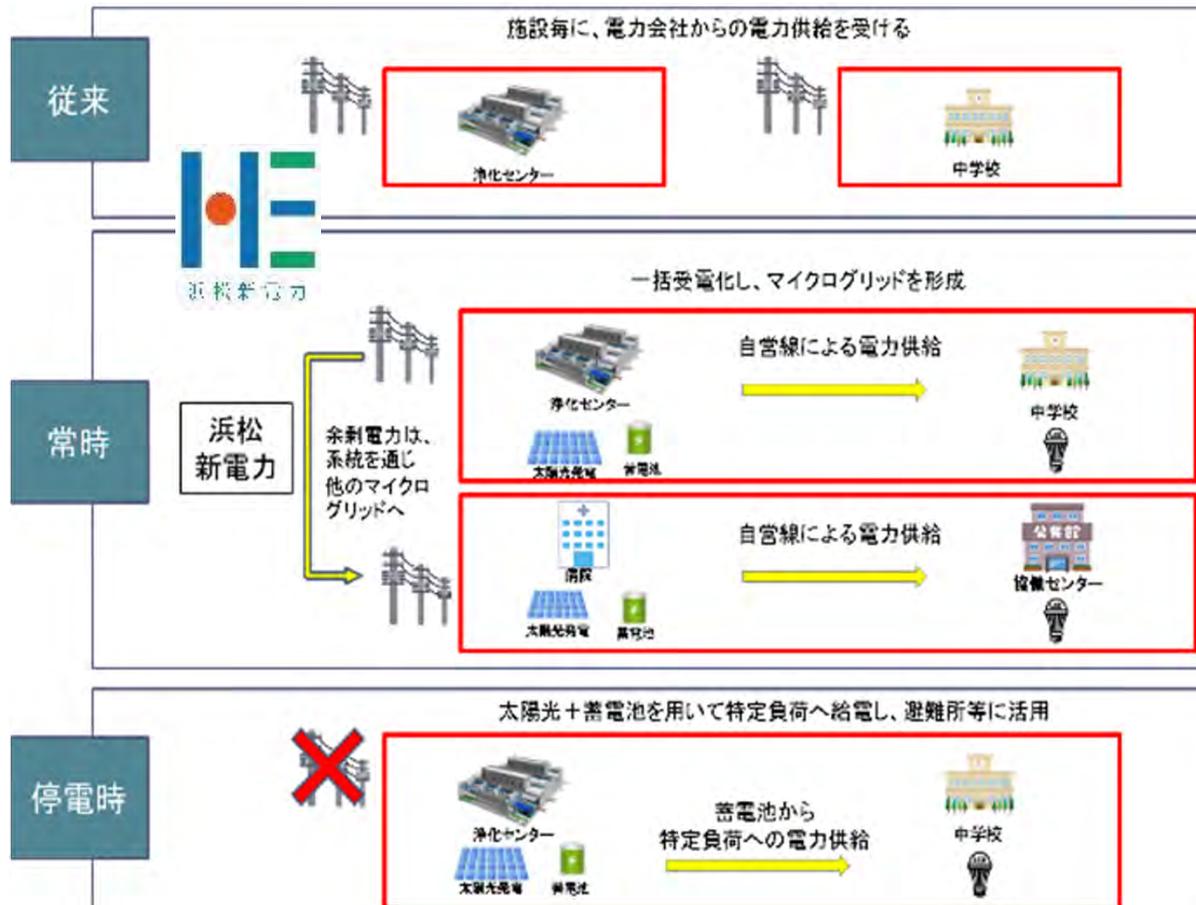
浜松市マイクログリッド事業

環境省「公共施設等先進的CO₂排出削減対策モデル事業」

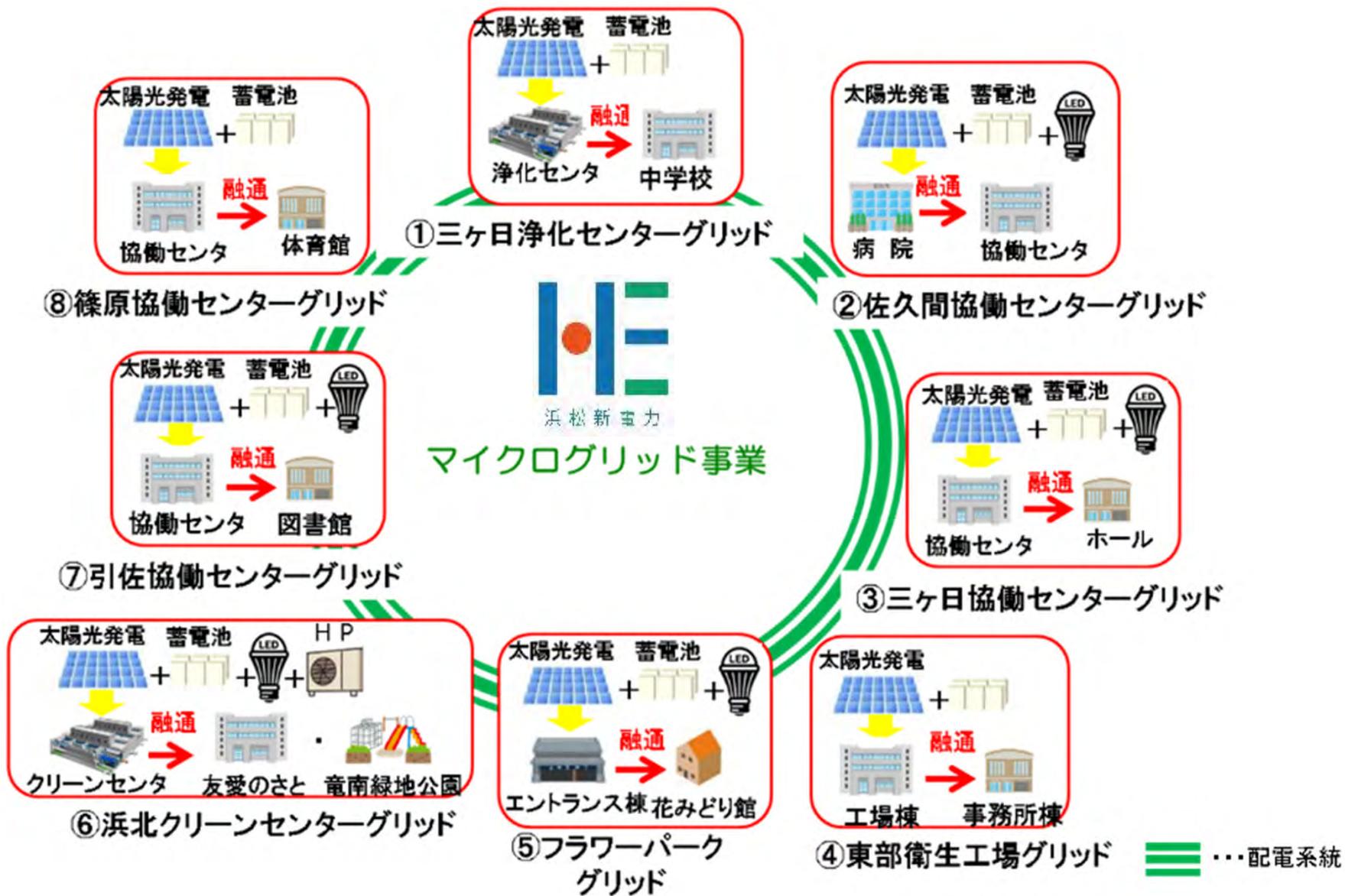
(事業主体: (株)シーエナジー、(株)浜松新電力、浜松市)

- ① 地域・建物に応じた再生可能エネルギーの利用
- ② 蓄電池を利用したエネルギーの最適利用と、グリッド間制御による電力需給対策
- ③ 熱利用による省エネルギー化
- ④ 分散型電源を駆使したBCP対策

CO₂
排出削減



浜松市マイクログリッド事業



浜松市マイクログリッド事業

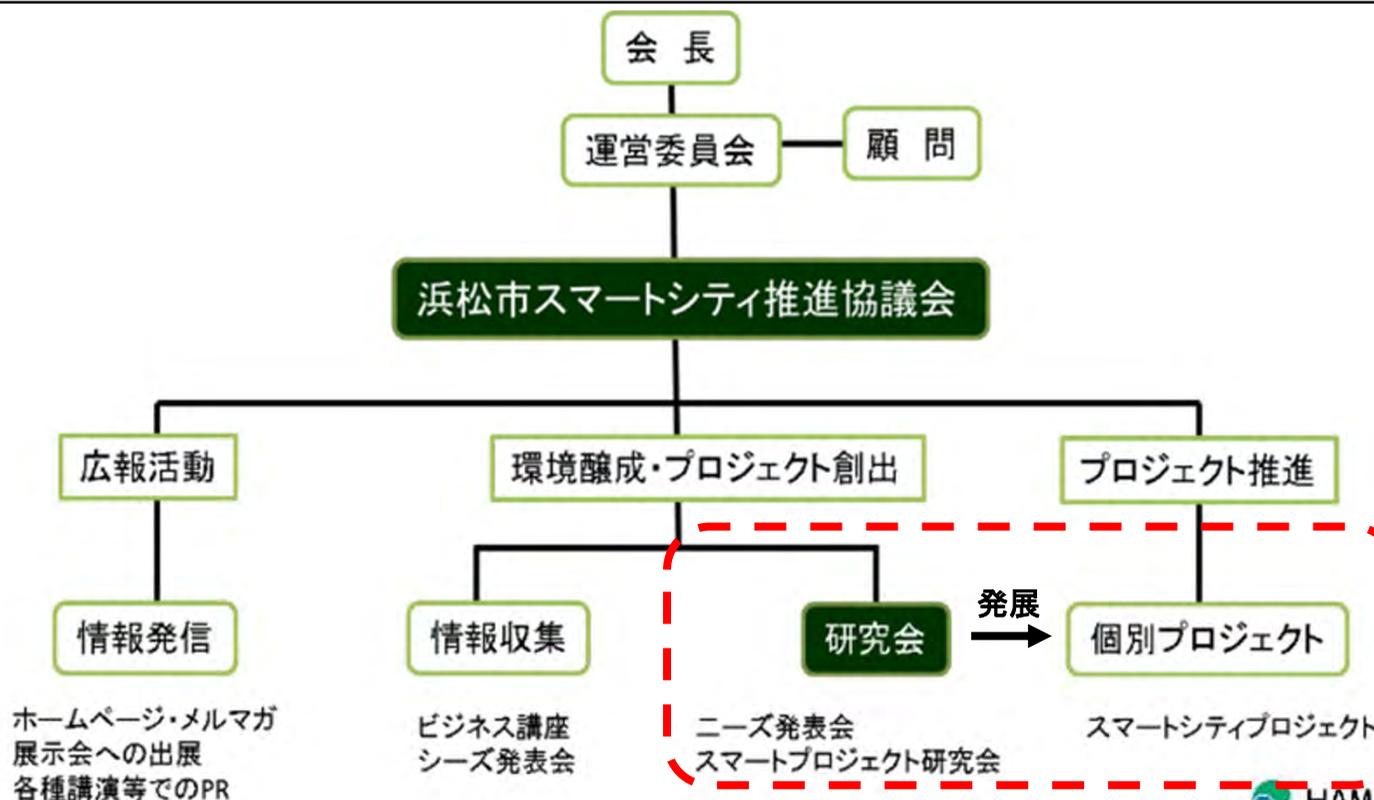


●設備一覧

グリッド名	発電設備 (太陽光発電)	PCS (パワーコンディショナー)	蓄電池	LED照明設備	ヒートポンプ
三ヶ日協働センター グリッド	50.4kW ※屋上置き	44kW ※5.5kW × 8台	12kW(29.4kWh) ※4kW(9.8kWh) × 3台	1.4kW	—
引佐協働センター・ 引佐図書館 グリッド	21.6kW ※カーポート式 (協働センター駐車場)	16.5kW ※5.5kW × 3台 (協働センター駐車場)	12kW(29.4kWh) ※4kW(9.8kWh) × 3台 (協働センター)	2.69kW (協働センター)	—
佐久間協働センター・ 佐久間病院 グリッド	24.3kW ※屋上置き (佐久間病院)	16.5kW ※5.5kW × 3台 (佐久間病院)	8kW(19.6kWh) ※4kW(9.8kWh) × 2台 (佐久間病院)	3.85kW (両施設)	14kW (佐久間病院)
浜北クリーンセンター・ 友愛のさと・ 竜南緑地グリッド	340.8kW ※野立て (浜北CC)	233.1kW ※33.3kW × 7台 (浜北CC)	30kW(78.0kWh) (友愛のさと)	4.14kW (友愛のさと)	70kW (友愛のさと)
はままつフラワーパーク グリッド	75.6kW ※屋上置き	55kW ※5.5kW × 10台	8kW(19.6kWh) ※4kW(9.8kWh) × 2	4.5kW	—
浜松市東部衛生工場 グリッド	513.6kW ※野立て	366.3kW ※33.3kW × 11台	30kW(78.0kWh)	—	—
三ヶ日浄化センター・ 三ヶ日中学校 グリッド	610.0kW ※野立て (浄化センター)	366.3kW ※33.3kW × 11台 (浄化センター)	100kW(237kWh) (浄化センター)	—	—
篠原協働センターグリッド	24.3kW ※屋上置き	16.5kW ※5.5kW × 3台	8kW(19.6kWh) ※4kW(9.8kWh) × 2台	—	—
合計	1,660.2kW	1,114.2kW	208kW	16.58kW	84kW

浜松市スマートシティ推進協議会

- 〈設立〉 平成27年6月
- 〈役員〉 会長：浜松市長
顧問：東京工業大学 柏木特命教授
- 〈会員〉 180社（令和3年9月現在） ← 設立時75社
- 〈活動〉 情報発信、研究会開催、プロジェクト展開



スマートプロジェクト研究会

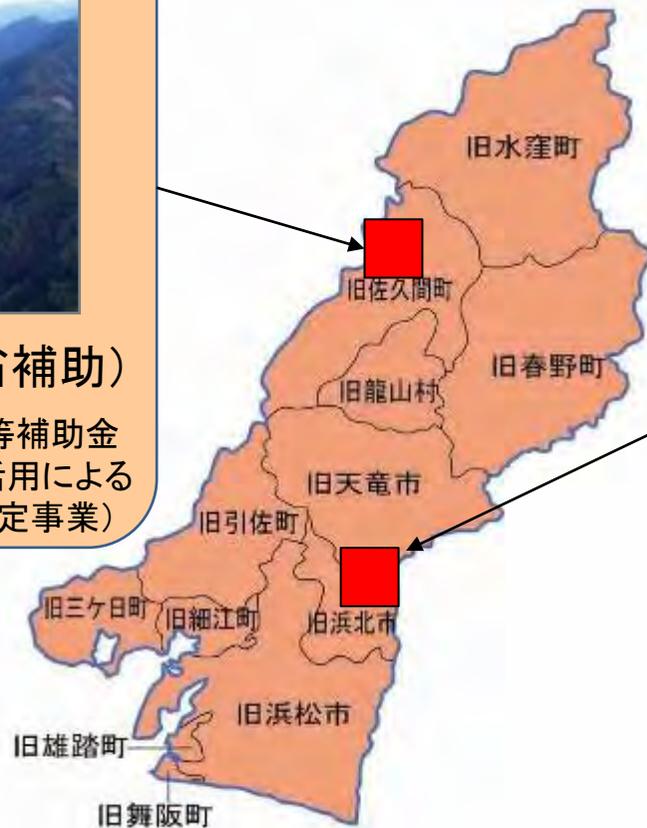
「国土縮図型都市」の多彩なフィールドから研究エリアを設定

天竜区プロジェクト (中山間地域モデル)



木質バイオ計画(環境省補助)

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(木質バイオマス資源の持続的活用による
再生可能エネルギー導入計画策定事業)



浜北区プロジェクト (生活圏モデル)



区役所跡地
FS調査(経産省補助)

浜北区プロジェクト(浜北区役所跡地等スマート化事業)

- ◎浜北区プロジェクトの検討に基づき、区役所跡地を活用したスマート化事業を公募。
- ◎戸建・集合住宅の全棟ZEH。食品スーパーでも省エネ・創エネを積極的に実施。

○参考(対象用地概要)

- <所在地> 浜北区西美園6-1ほか
- <面積> 公簿 8,813.75㎡
実測 8,816.25㎡
- <用途地域> 第2種住居地域
- <その他> 建ぺい率 60% 容積率 200%

○選定結果

- 事業者: 積水ハウス(株) 静岡シャーメゾン支店
- 土地売却価格: 620,000,000円
- <参考価格> 497,000,000円
- ※提案内容と価格を総合的に評価し、土地売買契約の相手方(土地の売却先)を選定

○スケジュール

- 令和2年12月 土地売買契約締結
- 令和3年1月 所有権移転
- 令和3年8月頃 工事着工予定

○提案概要

- 対象用地①: 戸建宅地分譲(6戸)、賃貸住宅(14戸)、食品スーパー(ビッグ富士)
- 対象用地②: 戸建宅地分譲(6戸)

行政機能において 都心を補完する

- 事業対象地内の住戸は全棟「ZEH」とし、まち全体で省エネルギーを推進する
- 既存の浜北体育館との連携による防災拠点としての機能
- 良質な賃貸住宅を計画し、多世代の住まいと住まい手の循環を図る
- 人生100年時代を見据えた安全・安心で可変性の高い住まいで、「住み続けたい」という思いに応える
- 地域と接する部分に環境価値の高い住戸を計画する

にぎわい、出会いを演出し 文化を創造する



みどり豊かな都市景観と 快適に暮らせる居住環境

- 東西の道路に対して中心性のある施設誘致と動線(フットバス)の確保で地域人をつなぐ
- 生活利便を高める商業施設を誘致し、地域の魅力をさらに向上させる
- 緑あふれる環境と地域コミュニティのための仕掛けを計画地全体で提供する

積水ハウス(株) 静岡シャーメゾン支店 事業イメージ

○コンセプト

- ・「浜松版スマートシティ」のモデルとなるまちづくり
- ・「浜北副都心構想」を満たし、副都心としての役割に貢献するまちづくり

天竜区プロジェクト(夢プロジェクトさくま)

夢プロジェクトさくま・・・再エネ事業を軸に、地域の資源循環と経済循環を生み出す

佐久間中学校跡地を拠点として、バイオマス資源を活用した産業の創出、観光や交流の促進、レジリエンス強化、地域の取り組みの集約につなげ、積極的に発信する



6 浜松新電力

(株)浜松新電力の概要

<2015年10月>

指定都市初の地域新電力を設立

浜松市内太陽光発電所や清掃工場から電気を調達し、
浜松市内の公共施設や民間需要家へ供給



発電事業者

太陽光発電所



清掃工場

エネット他

電気

電気

株式会社 浜松新電力

役員
取締役3名
監査役2名

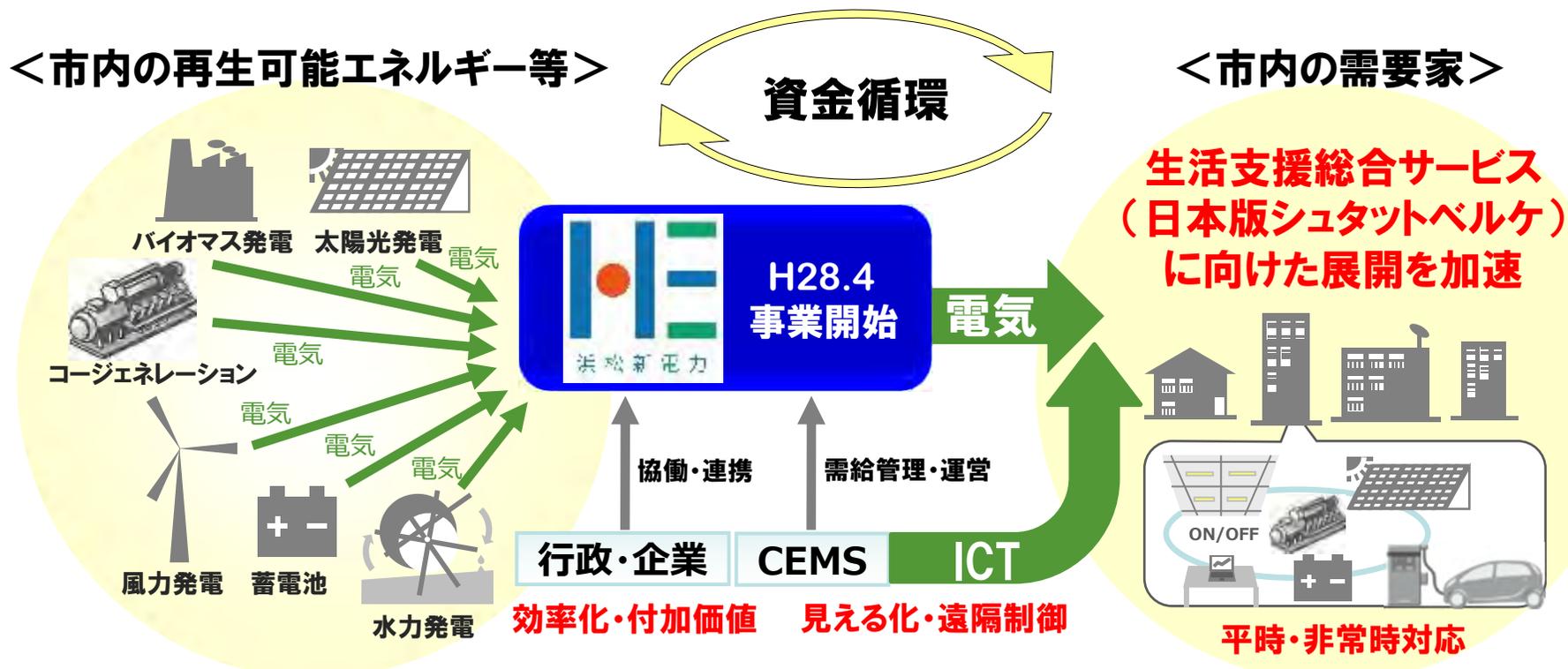
電気

浜松市公共施設
市内需要家

6,000万円
出資

出資者	
1	浜松市(8.33%)
2	NTTアノードエナジー(25%)
3	NECキャピタルソリューション(25%)
4	遠州鉄道(8.33%)
5	須山建設(8.33%)
6	サーラエナジー(8.33%)
7	中村建設(8.33%)
8	静岡銀行(4.17%)
9	浜松磐田信用金庫(4.17%)

「浜松新電力」は地産地消システムの担い手



★浜松市のエネルギー政策との連携★

- ・ 市内資源である再生可能エネルギーを最大限活用した電力の地産地消
- ・ 資金の市内循環による経済活性化
- ・ 市民の節電・環境意識を醸成
- ・ 強靱で低炭素な社会 (=エネルギー・スマートシティ) を構築

7 課題・まとめ

課題と対策(①再生可能エネルギーの導入・利用拡大)

●太陽光発電

★課題		★方策
地域と調和の 取れた適正な 導入 (住民理解)	<p>・新規施設の適正導入</p> <p>《住民からの声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何の連絡もなく工事が始まった ・反射光や電磁波等の影響が不安 など 	<p>・浜松市太陽光発電施設に関するガイドライン(R1)</p> <p>・浜松市適正な再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例(R2)</p> <p>・太陽光(20kW以上)及び風力発電(100kW以上)事業の届出を義務化</p> <p>・地域住民等へ事業計画の周知を義務化</p>
	<p>・既存施設の適正な維持管理</p>	<p>・太陽光実態調査の実施、事業者へ指導</p> <p>・地域一体のサポート体制構築 → 長期安定化</p>
さらなる 導入促進	<p>【事業者・市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定価格買取制度(FIT)価格の下落に伴う設備導入の鈍化、適地の減少 ・2019年問題への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所・工場への自家消費型導入促進(広報周知、事業者向け補助金等) ・住宅用蓄電池・ZEHの普及促進(スマートハウス補助金) ・PPAモデル、ソーラーシェアリング、カーポート式の導入 等
	<p>【公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年 50%導入、2040年 100%導入を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の新築時、大規模改修時の太陽光パネル導入ルール化の検討 ・導入効果が高い施設への先行導入の検討

●再生可能エネルギー電源（RE100電源）の地産地消

★課題	<ul style="list-style-type: none">◇再生可能エネルギー由来電源の価格高、量の確保◇需要(一部大手でのニーズはあるが、中小企業のニーズが少ない) →導入が進まない
★方策案	<ul style="list-style-type: none">◇公共施設におけるRE100電源の率先導入◇民間施設や個人宅への導入促進(←浜松新電力等)◇国の規制緩和の活用<ul style="list-style-type: none">・再生可能エネルギーの直接購入拡大(小売りを介さない方式) (※経産省検討中)

課題と対策(②徹底した省エネ+イノベーション)

●水素利活用

★課題	<ul style="list-style-type: none">◇危険というネガティブなイメージ →認知度の低さが要因◇コスト高(FCV、エネルギー変換等)
★方策案	<ul style="list-style-type: none">◇広報活動の継続(セミナー、環境教育)◇地域における用途別の現状調査→今後の可能性検討<ul style="list-style-type: none">・モビリティ(FCV、FCバイク、FCフォークリフト 等)・定置型燃料電池(事務所、住宅への熱電供給)・エネルギー貯蔵(再エネ由来の水素)・地域企業の研究の後押し、産業育成(水素吸蔵合金やFCV等の部品開発)

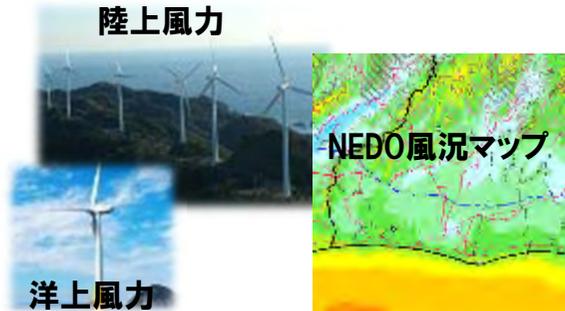
●ゼロカーボン建築物 (ZEH、ZEB)の導入促進

★課題	<ul style="list-style-type: none">◇ZEBの導入が進まない (導入費が高価、施設の建て替えのタイミングの問題)
★方策案	<ul style="list-style-type: none">◇事業者向けエネルギー自立分散設備導入支援事業費補助金等の運用◇省エネ診断の実施拡大とそこから誘導されるZEBの導入促進 省エネ診断(浜松新電力がサポート) →ZEBの導入促進(民間建設事業者 等)

再生可能エネルギーと地域との共生

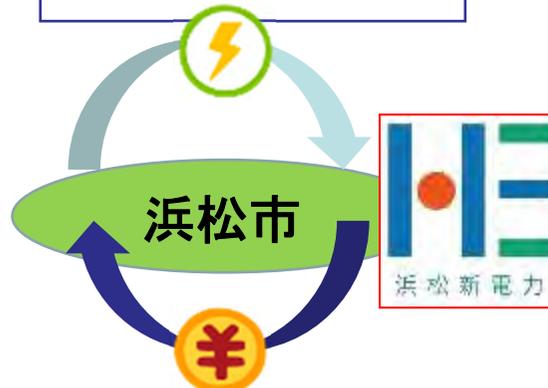
再エネ導入での地域合意形成

風力ゾーニング
再エネ条例 等



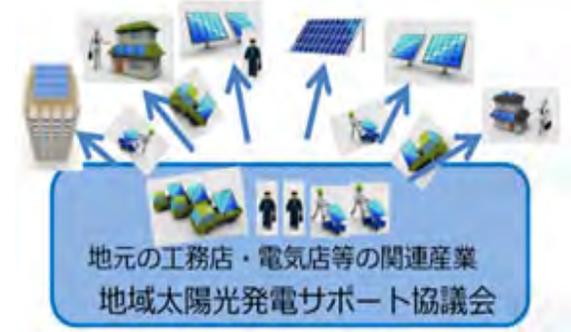
再エネの地産地消

浜松新電力
分散型エネルギーの
地産地消システム



再エネの適正な管理

再エネの長期持続的な維持
太陽光サポート事業
適正な廃棄処理 等



◆景観・環境への配慮

◆地域内経済循環

◆市民生活への配慮

再生可能エネルギーと地域との共生

スマートシティ はままつ

SMART



CITY
HAMAMATSU

ご清聴ありがとうございました



浜松市産業部エネルギー政策課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL:053-457-2503 FAX:050-3730-8104

E-mail: ene@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL:<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>